

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
PASSO
DAIHATSU
BOON

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

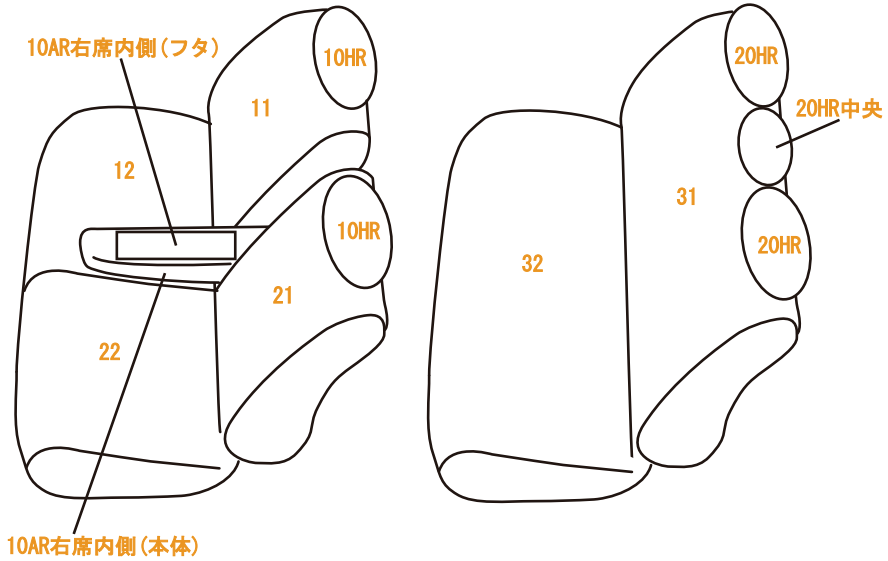
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~8P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 9P~11P
1 列目背もたれの装着方法	…> 12P~14P
2 列目座面装着方法	…> 15P~18P
2 列目背もたれの装着方法	…> 19P~21P
ヘッドレストの装着方法	…> 22P~23P
アームレストの装着方法	…> 24P~26P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 27P~28P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- 1 ソケットレンチセット ソケット (40mm)
※150mm以上のエクステンションバーが必要になります
- 2 T型トルクスレンチ (T40)
- 3 プラスドライバー
- 4 クラツィオ専用 ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法



- 1 背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏の金属部分に、ゴムで引っ掛けて固定されているので、ゴムの固定をほどき生地を外します。
※ゴムを外してもゴムに配線が掛かっているので、生地は完全には外れません。



- 2 シートリフターのレバーを外します。
※シートリフターを外す前にシートを一番高い位置まで上げておくようにして下さい。図のプラスチックキャップを隙間にへらなどを差し込み外します。



- 3 プラスチックキャップを外すと中にネジが1本あります。ドライバーを使用してネジを外すと、シートリフターのレバーが外れます。



- 4 アームレスト下側のシートの縁にカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。



- 5 4番の位置を軸にしてカバーをシート全体にかぶせていきます。



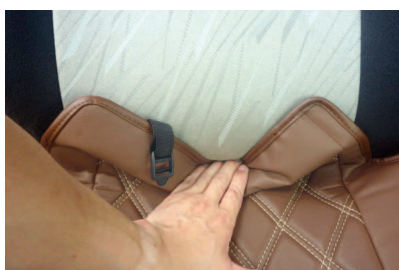
- 6 リクライニングレバーにカバーの加工穴を通します。
※穴は小さめに開けているので、穴を通す際は慎重に通して下さい。



7 シートリフターの軸にカバーの加工穴を合わせます。



8 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



9 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい角度で行ってください。



10 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。
※上の図はシートヒーター装備車の配線部分です。配線部分に注意して、配線の内側を通して生地を引き出します。また8ページ19番の作業で、生地が配線に引っ掛かる場合は、生地を少し折り曲げて対応して下さい。



11 シートの軸部分に生地を引っ掛けるようにして、ヘラなどで入れ込みます。



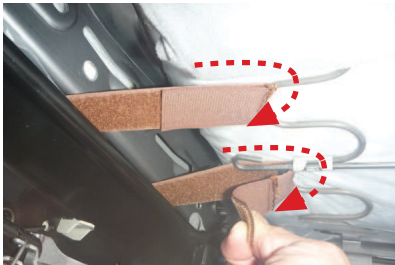
12 カバー外側にマジックテープのベルトが2本付いています。マジックテープのベルトをシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



- 13** 6ページ12番で入れ込んだベルトをシートの裏から引き出します。
※ベルトはシートを一番高い位置まで上げておかないと引き出せません。



- 16** 入れ込んだベルトをシートの背面から引き出します。



- 14** 引き出したベルトをシート裏の金属部分に巻き付けて折り返し固定します。



- 17** 6ページ10番で引き出した生地の手と、アームレスト下の背面側の生地をマジックテープで固定します。



- 15** カバーの前側に付いているベルトを、シート裏を通してシートの背面へ入れ込みます。



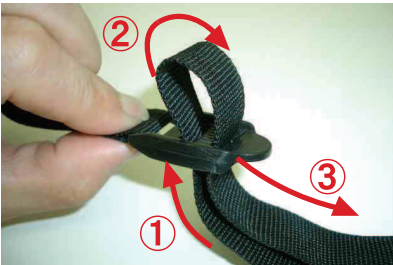
- 18** 6ページ10番で引き出した生地の手と、カバー外側の背面側から出ているマジックテープを固定します。



- 19 6ページ10番で引き出した生地端の付いているバックルに、7ページ16番で引き出したベルトを通して固定します。



- 22 シートリフターのレバーを元に戻します。シートを下げると21番で入れ込んだ生地がシワになることがあります。その場合は指で引っ張りシワを伸ばして下さい。



- 20 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするのでご注意ください。



- 23 シートベルトバックルが出ている縁に生地を入れ込みます。



- 21 シートリフターの軸の下側に生地を入れ込みます。



- 24 カバーのラインを整えて1列目運転席座面の完成です。

Step 2

…> 1列目助手席座面の装着方法



- 1 始めにシートアンダートレイを外します。トレイをいっぱいまで引き出して、上下に軽く振りながら引くと、トレイが図のように外れます。



- 4 カバーの加工穴にリクライニングレバーを通します。



- 2 シート背面下の生地を、運転席同様に外します。助手席もシートアンダートレイのレールにゴムが掛かっているので、完全には生地は外れません。



- 5 シート全体にカバーをかぶせます。



- 3 カバーをシートのラインに合わせて、前側から後ろ側へかぶせていきます。



- 6 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 7 9ページ6番で入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 8 シートの軸部分に生地を引っ掛けるようにして、ヘラなどで入れ込みます。シート内側も同様に生地を入れ込みます。



- 9 カバー外側面の生地をシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



助手席のシートを前に、運転席のシートを後ろにすると作業が行いやすくなります

- 10 カバー内側面の生地を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。こちらは隙間が大変狭いため、生地を傷付けないように作業は慎重に行ってください。



- 11 シートベルトバックルの付け根部分にも生地を入れ込みます。



- 12 8ページ20番を参考に、カバー前後のベルトを固定します。



- 13 カバー側面の後ろ側に付いているマジックテープ同士を、図のようにシート背面から中央へ寄せて固定します。



- 14 マジックテープを固定すると図のようになります。



- 15 カバーのラインを整えて、助手席座面の完成です。

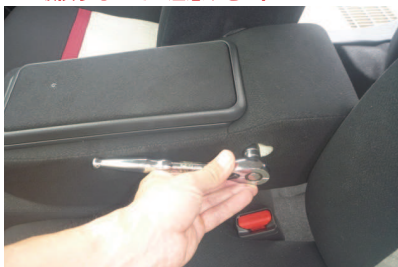
Step 3

…> 1列目背もたれの装着方法

運転席のカバーを装着する前にアームレストを外します。



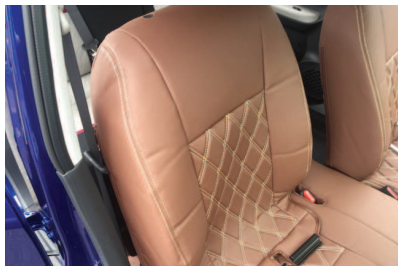
- 1 アームレスト側面のキャップを外します。キャップは図の部分へヘラなどで押しと外れます。押し位置が外からは見えないため作業はヘラなどを差し込み、手前にキャップを引く作業を何度か繰り返して行いきます。正しい位置をヘラで押しせると軽力でキャップが外れます。
※無理に外そうとするとキャップのツメが破損するのでご注意ください。



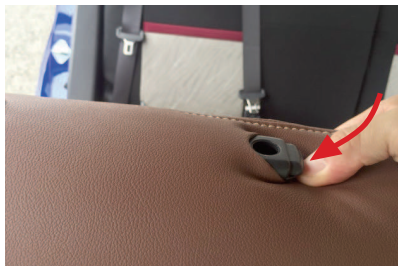
- 2 ソケットレンチなどを使用して、ボルトを外します。ソケットは14ミリ、150ミリ以上のエクステンションが必要になります。



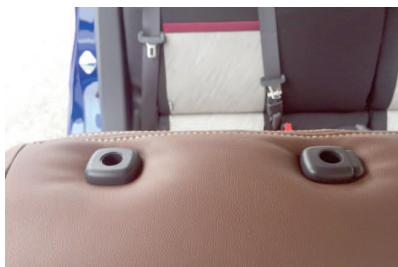
- 3 ボルトを外すとアームレストが図のように外れます。



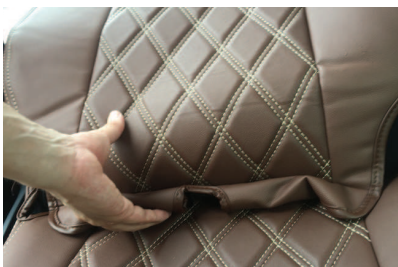
- 4 カバー両側面のファスナーを開いて、シート全体にカバーをかぶせます。



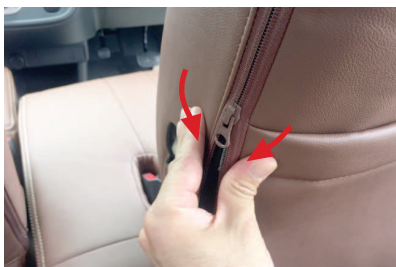
- 5 ヘッドレストの台座を取り出します。最初にロックを解除するボタン側の縁に、生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 生地伸びを利用してヘッドレストの台座を取り出します。
※本革を使用している製品では生地が伸びないため、作業は慎重に行ってください。



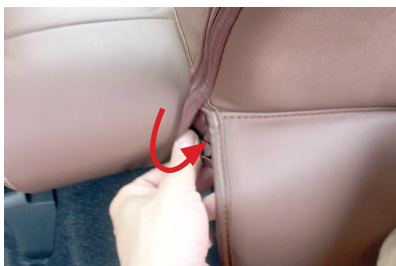
- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。生地の上には大きなフックが付いているので、フックの角などで生地を傷つけないようにご注意ください。



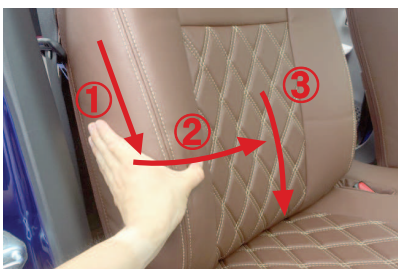
- 10 カバー両側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 8 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。
※シートヒーター装備車は座面裏からシートの中央あたりに配線が出ています（6ページ10番参照）。配線に注意して生地を引き出して下さい。



- 11 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 9 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろすようにして、生地をシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで、繰り返し行って下さい。



- 12 8番で引き出した生地についているフックを、図のようにシート背面裏の縁に引っ掛けて固定します。座面カバーを装着する際に外した5ページ1番、助手席は9ページ2番の生地を、ゴムが完全には外れていませんが、しっかりとめくり上げて作業を行って下さい。



- 13 フックを引っ掛けると図のように固定されます。
※この際もシートヒーター装備車は配線に気を付けて作業を行って下さい。



- 16 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 14 座面カバーを装着する際に外した5ページ1番、助手席は9ページ2番の生地を元通りに固定します。



- 17 カバー背面下は図のようになります。



- 15 カバー背面下に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。



- 18 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
アームレストはアームレストカバーを装着する際に元に戻します。
助手席も同様に取り付けます。

Step 4

…> 2列目座面の装着方法

※2列目座面はシートを車体から外してカバーの装着を行います。シートは説明の方法で外れますが、かなり力のある作業です。どうしても外れない場合は、無理をせずディーラーや整備工場へ依頼されることをお勧めします。



- 1 シートはシート裏のフックで固定されています(2番参照)。シートの裏に手を入れフックのすぐ横を持ち、かいっぱい真上に持ち上げるとフックが外れ、シートの前側が持ち上がります。フックはシートの裏に左右2か所で固定されています。



- 2 シートの前側が車体から外れた図です。図のようにシート裏にはツメ側が、車体側には受け側があります。



- 3 シート裏のツメ側にフックの部品と一緒に付いて外れる場合があります。本来、図の白い部品は車体側に残りますが、シートを外す際に一緒に外れる場合があります。



- 4 3番の部品がツメ側に付いてきた場合は、部品をツメから外して車体側の受けに戻して下さい。シートを元に戻す際にツメ側に付いていると戻り辛くなります。



- 5 車の外へ出てトランク側から図のラゲージボードを取り出します。



- 6 工具ボックスも取り出します。



- 7 シートの背面側の付け根に、図のフックが金属バーに掛かっています。フックの下側にヘラなどを差し込み、てこの原理のようにヘラを動かして、フックを金属バーから外します。



- 8 シートが車体から外れました。シートを車外に出すとカバーが装着しやすくなります。
※シートを車外へ運び出す際は、慎重に作業を行ってください。



- 9 カバー裏に付いているベルト4本を、チャイルドシート固定用に開いているシートの穴に通します。中央2本のベルトはどの穴にも通さないで、ご注意ください。



- 10 シートの付け根部分に、カバーを包み込むようにかぶせます。9番で通したベルトはカバーの加工穴にも通して引き出します。



- 11 7番の作業で外したフックに、カバーの加工穴を通します。



- 12 シート中央の付け根部分にカバーを包み込むようにかぶせます。



- 13 カバーをシート全体にかぶせてシート裏側へ生地をしっかりと引き出します。



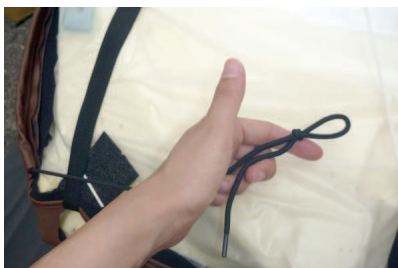
- 16 作った輪にもう片側のヒモを通して引きま
す。カバーの下周りを引き絞りを、緩まない
ように結び留めます。



- 14 カバー前後のベルト6本を固定します。ベ
ルトの固定方法は8ページ20番を参考に
して下さい。



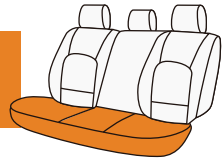
- 17 シートの裏側は図のようになります。



- 15 カバーの両端から出ているヒモの片側で、
図のように輪を作ります。



- 18 シートを表に向けてカバーのラインを整え
ます。



- 19 背もたれカバーを装着後、シートを元に戻します。
16ページ7番で外したフックを、シートの角度を合わせて押し込み、金属バーに引っ掛けます。



- 22 カバーのラインを整えて2列目座面の完成です。



- 20 シートの前側を上げて、シートベルトバックルをシートのくぼみに入れ込みます。カバーを固定するヒモをかわしながら入れ込んで下さい。



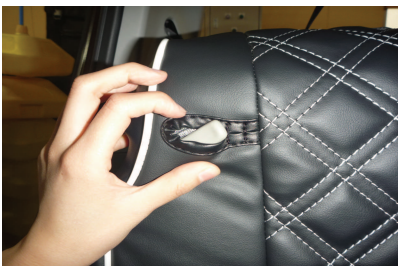
- 21 シートベルトバックルは図のように取り出します。
バックルがうまく出てこない場合は、シートベルトを差し込み引き出すときれいに取り出せます。

Step 5

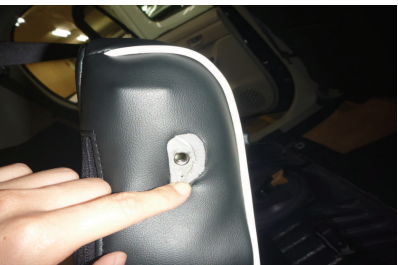
…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 シートの可倒レバーを外します。T型トルクスレンチ（T40）を使用して左右のレバーを取り外します。※レバーを取り外す際、レバー側のパネが掛け違えてしまう事があるので慎重に取り外して下さい。



- 2 シートベルトガイドをカバーの加工穴から取り出します。カバーをガイドの先端側に出来るだけ寄せて、ガイドの先端から慎重に取り出します。ガイド部分を無理に曲げたりしないように、慎重に作業を行って下さい。



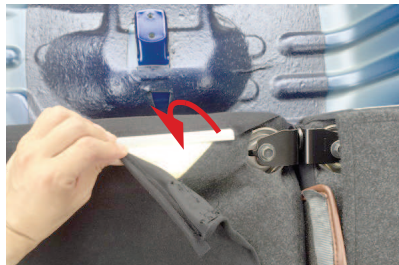
- 3 カバーのファスナーを開いて、シートのラインに合わせて全体にかぶせます。カバー側面の加工穴を取り外した可倒レバーの穴位置に合わせておきます。



- 4 1列目と同様に、ヘッドレストの台座を取り出します。



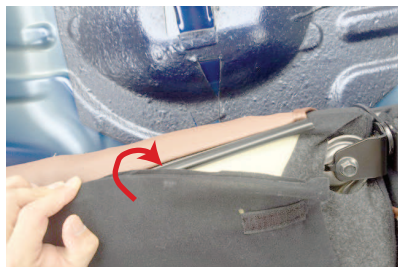
- 5 シート背面下の生地をマジックテープの固定（点線部分）を外してめくり上げます。



- 6 シート背面下で、シート表皮の固定を外します。シート表皮はフックに平らなプラスチックを入れ込み固定されています。平らなプラスチック部分を手前に返すようにするとフックから外れます。



7 シート表皮をめくり上げると図のようにシートのスポンジ部分が見えます。



10 9番で引き出した生地についているフックに、6番で外したシート表皮の平らなプラスチックを入れ込み固定します。
※純正シート表皮のフックはカバーの中に入れ込むようにします。



8 シートの下から生地を入れ込みます。



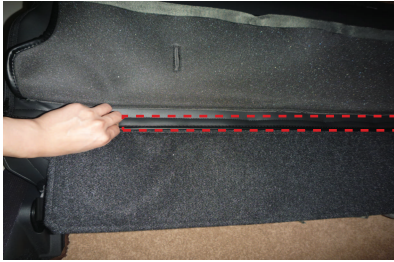
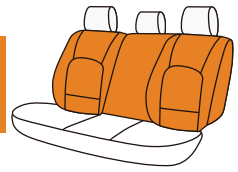
11 17ページ5番の生地をめくり上げた状態で、カバー両側面の下側に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。マジックテープに保護テープが付いている場合は、保護テープを外してから固定して下さい。



9 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



12 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 13 カバー背面の生地をめくり上げて、図の点線の位置にカバーのマジックテープを、シートに直接貼り付けて固定します。



- 16 カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。



- 14 13番でめくり上げていた生地を元に戻して、カバーに付いているマジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 15 可倒レバーを元に戻します。

Step 6

…> ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーを半分ほど裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



- 4 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーを左右均等に引き下げていきます。ヘッドレストの中央あたりで一番きつくなってきます。指でヘッドレストを押し込み慎重にカバーをかぶせます。



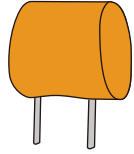
- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、もう一度カバーのラインを確認します。



- 6 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 7 2列目中央ヘッドレストです。2列目ヘッドレストは図の矢印の方向に、下から上へかぶせます。まずヘッドレストの先端部分の生地に、たるみなどが出ないようにしっかりとかぶせます。



- 10 1列目ヘッドレスト同様に、ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 8 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。ヘッドレスト後ろ側の角部分は、一番装着がきつくなる場所です。角の部分を指で押し込みながら、慎重にかぶせて下さい。



- 11 カバーのラインを整えて2列目中央ヘッドレストの完成です。2列目中央の両サイドのヘッドレストも、一部形状は異なりますが同様に取り付けます。



- 9 ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。

Step 7

…→ アームレストの装着方法

図は別車種のものを使用していますが同様に装着します



- 1 始めにボックス部分を外します。フタを開けると中にネジが1本あります。ネジをドライバーを使用して外します。



- 4 アームレストの付け根部分は、内側のみカバーをかぶせておきます。



- 2 ボックス裏にツメが引っかかっているので図の矢印方向へスライドさせるようにしてボックスを外します。



- 5 2番で外したボックスのフタにカバーをかぶせます。フタ裏の図の部分、ドライバーを使用してネジを2本外して取り外します。



- 3 アームレスト本体にカバーをかぶせます。カバーのファスナーを開けて、アームレストの先端まで生地が張るように、ファスナー部分からカバーをかぶせます。



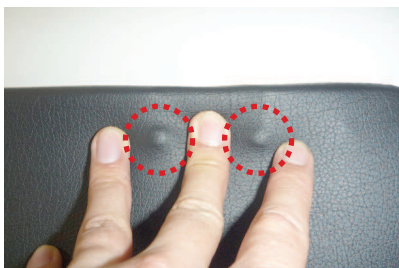
- 6 フタにカバーをかぶせます。丸で印を付けている生地の継ぎ目部分に負荷がかかりすぎると、生地が裂ける恐れがありますのでご注意ください。



7 フタ全体にカバーをかぶせます。



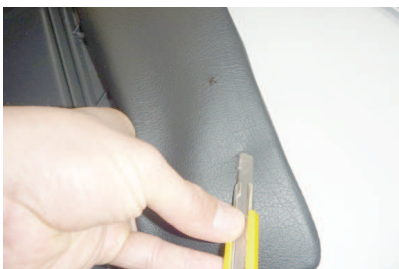
10 切り込んだ部分からネジ穴を図のように取り出します。



8 24ページ5番で外したネジ穴の位置を、指で押さえるなどして、生地の上から確認します。



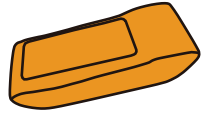
11 24ページ5番で外した部分を元に戻します。



9 ネジの位置に印しを付けるなどして、付けた印し部分を少し切り込みます。



12 ボックスをアームレスト側のカバーの生地を巻き込みながら、アームレストに戻します。この際ボックス裏のツメがしっかりかかるように意識して、元に戻して下さい。



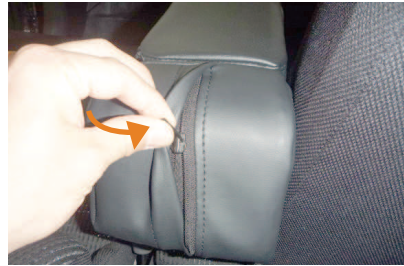
- 13 ボックスをアームレストに戻した際に、図の矢印の隙間がほぼない状態になっていることを確認して下さい。ボックスが少し浮いた状態の場合は、ボックス裏のツメがかかっていません。再度ボックスを取り付け直して下さい。



- 16 アームレストをシートに戻します。



- 14 アームレストとボックス部分の隙間に、ボックスのフタに付けたカバーの端を、ヘラなどを使用して入れ込みます。点線で囲んだ生地のパチ部分が全て見えなくなるほどしっかりと入れ込んで下さい。



- 17 アームレスト外側の生地を内へ寄せながらファスナーを慎重に閉じます。



- 15 生地を全て入れ込むと図のように収まります。



- 18 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

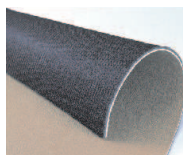


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816